



No.40

2019.8

「日の出の森・支える会」は、東京都西多摩郡日の出町にある巨大な処分場が引き起こした環境汚染から、自分たちの生命・健康を守るとともに、ごみ問題の真の解決を願って立ち上がった地元住民運動を支援することを目的として、1994年に発足しました。

米軍横田基地の深刻な環境問題 解決の力ギは何？

日の出の森・支える会 副代表 大沢ゆたか

●米軍基地からの流出事故が隠ぺい

今年の6月26日の毎日新聞に大変重大な記事が掲載されていました。「米軍 流出事故 134 件、燃料など 通報 3 件のみ」という見出しでした。

私は2年前（2017年）にも米軍の環境調査の中止をこのニュースに書いています。

今回の記事は2010年～2017年にジェット燃料などが流出するなどした事故が134件起きていたが、外務省に通報があったのは3件しかなかったということでした。これが判明したのは毎日新聞が米国の情報公開制度を使って入手した資料です。

1995年に作成された在日米軍が環境汚染物質の管理や漏出した際の対応などについて定めた「日本環境管理基準（JEGS）」があってその後、何度か改訂されてきたものの実効性がありませんでした。漏出事故の通報基準などが不透明だからとされています。

2015年に環境に影響を与える事故が発生した場合に日本の当局が米軍施設に立ち入りが行える手続きの作成として「日米地位協定」の環境補足協定が追加されました

が、まったく実効性がありません。

2018年には日本の全国知事会が航空法や環境法令など国内法の適用や、事件・事故時の基地への立ち入りなどを「日米地位協定」に明記するように要請しました。しかし、安倍政権からは反応がありません。

●沖縄で有機フッ素化合物が水質汚染

沖縄県は2013～2018年度に県内55地点の河川や浄水場などを調査し、発がん性が疑われている有機フッ素化合物（PFOS, PFOA）の濃度が15地点で70ナノグラムを超えたと発表しています。PFOS, PFOAは泡消火材などに使われており、実際の火災や訓練などに使われておりこうしたことの影響があるのではないかとされています。

●こうしたニュースが広がらない？

こうしたニュースは新聞社が米国の情報公開制度を使って真実を入手し発表したために、他の新聞や放送局がこれを広報できないという縛りがあります。こうしたことが多くの人に伝わるためには後続の報道ができるような仕組みを作ることが必要です。

【連絡先】〒190-0011 東京都立川市高松町2-19-1 Tel.042-523-7297 / 070-5360-1201（島崎携帯）

ホームページ：<http://hinodenomori.main.jp>